

授業科目名・形態	生活支援技術論 I	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	関口麗子	開講期	1年前期	単位数 2

【授業の主題】

介護技術の根拠となる人体の構造や機能について基礎的な知識を習得し、こころとからだのしくみを理解するとともに、各種の病気や障害の理解につなげることができるように学習する。

【到達目標】

- 1) 「健康」「欲求」「身じたく」「移動」「食事」に関連したこころとからだのしくみを理解する。
- 2) 身じたく・移動・食事における行為の生理的意味や機能低下が及ぼす影響について学習する。
- 3) 利用者の残存能力を活用し、安全・安楽を考慮した援助の基本姿勢を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション、健康とは何か
- 第 2 回 人間の欲求、自己実現
- 第 3 回 こころのしくみの基礎 ①「こころ」「脳」のしくみ
- 第 4 回 こころのしくみの基礎 ②「学習・記憶・思考」「感情」「認知」等
- 第 5 回 からだのしくみ ①心身の調和、恒常性、からだの各部位の役割
- 第 6 回 からだのしくみ ②からだの動き
- 第 7 回 身じたくに関連したしくみ ①身じたくの必要性、身じたくに関連したからだのしくみ
- 第 8 回 身じたくに関連したしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 9 回 身じたくに関連したしくみ ③変化への気づきと対応
- 第 10 回 移動に関連したしくみ ①移動の必要性和移動のしくみ
- 第 11 回 移動に関連したこころとからだのしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 12 回 移動に関連したこころとからだのしくみ ③変化への気づきと対応
- 第 13 回 食事に関連したしくみ ①食事の意義と必要性、消化器系の理解
- 第 14 回 食事に関連したしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 15 回 食事に関連したしくみ ③変化への気づきと対応

【授業実施方法】

基本的には講義形式でおこない、DVD等の活用をする。

【授業準備】

身体各部位の名称、医学・心理学用語など専門用語は復習を繰り返しながら、学習する。
また、自分の身体を使って名称を理解し、具体的な日常生活に結び付けて理解する。

【主な関連する科目】

介護の基本、日常生活支援技術

【教科書等】

「新・介護福祉士養成講座 1 4 こころとからだのしくみ 第3版」 <中央法規>

【参考文献】

「新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 第3版」 <中央法規>

【成績評価方法】

レポート・小試験（随時）・前期定期試験等 90%、出席状況・授業参加姿勢 10%で評価。

【学生へのメッセージ】

人体のしくみを理解し、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、どのように対応するのか、介護支援の基礎的な理解を深めるよう積極的に授業に参加しましょう。